

# 第1回江南市総合計画審議会 議事要旨

日 時 平成28年11月4日(金) 9:30~11:30

会 場 江南市役所 第2委員会室

出席者 出席委員19名(1名欠席)

## ■委員

《会長》	奥野 信宏	梅村学園・中京大学 理事・学術顧問
《会長代理》	松尾 昌之	市民会議代表《第2分科会・会長》
	木内 清美	愛知江南短期大学こども健康学科長
	佐々木 直	修文大学名誉教授
	高橋 政稔	名城大学理工学部教授
	尾関 昭	市議会議員
	掛布 まち子	市議会議員
	古池 勝英	市議会議員
	安達 秀正	愛知北農業協同組合組合長
	大谷 元	江南金融協会会長
	楓 健年	江南市環境審議会会長
(欠席)	後藤 雅臣	江南市消防団団長
	梶村 徹師	古知野区区長
	松永 金次郎	江南商工会議所会頭
	陸浦 歳之	江南市社会福祉協議会会長
	加藤 幸治	市民会議代表《第1分科会・会長》
	宮川 秀男	市民会議代表《第1分科会・副会長》
	岩根 佐代子	市民会議代表《第2分科会・副会長》
	柴田 広美	市民会議代表《第3分科会・会長》
	早瀬 裕子	市民会議代表《第3分科会・副会長》

■傍聴者 2名

## ◆議題

- (1) 会議の公表及び公開について
- (2) 江南市総合計画審議会について
- (3) 第6次江南市総合計画策定方針及び策定経過について
- (4) 第6次江南市総合計画基本構想(序論)について
- (5) その他

### <配付資料>

- 資料1 江南市総合計画審議会委員名簿
- 資料2 江南市総合計画審議会条例
- 資料3 会議の公表及び公開について、江南市市民参加条例
- 資料4 江南市総合計画審議会スケジュール
- 資料5 「江南市戦略計画」と「第6次江南市総合計画」との関係性について

資料 6	第 6 次江南市総合計画	策定方針
資料 7	第 6 次江南市総合計画	策定体制
資料 8	第 6 次江南市総合計画	策定経過・策定スケジュール
資料 9	第 6 次江南市総合計画	基本構想（案）
資料 10	第 6 次江南市総合計画	策定参考資料（基本構想関係）、参考資料①～③
資料 11	第 6 次江南市総合計画に係る市民意向調査報告書	
資料 12	第 6 次江南市総合計画の策定に向けた中学生アンケート調査結果	
参考資料	江南市戦略計画【概要版】（当初・第 1 次改訂基本計画・第 2 次改訂基本計画）	

## ◆会議結果

### 1 開会

### 2 市長あいさつ

### 3 辞令交付

### 4 自己紹介、会長及び会長代理の選出

委員の互選により、会長に奥野信宏氏、会長代理に松尾昌之氏を選出。

### 5 諮問

市長から会長へ諮問。

### 6 議題

#### （1）会議の公表及び公開について

（会 長）議題 1 会議の公表及び公開について、事務局より説明をお願いします。

（事 務 局）～資料 3 について事務局より説明～

#### （2）江南市総合計画審議会について

（会 長）議題 2 江南市総合計画審議会について、事務局より説明をお願いします。

（事 務 局）～資料 2 及び 4 について事務局より説明～

#### （3）第 6 次江南市総合計画策定方針及び策定経過について

（会 長）議題 3 第 6 次江南市総合計画策定方針及び策定経過について、事務局より説明をお願いします。

（事 務 局）～資料 5～8 について事務局より説明～

（委 員）資料 7 について、総合計画審議会で議論した内容は市民会議や分科会にどのように反映されていくのか。総合計画審議会と市民会議の関係性がよくわからないので教えて頂きたい。

（事 務 局）市民会議で検討し、下から積み上がったものを総合計画審議会にかけています。審議会での議論の内容は市民会議にも伝えますが、あくまでも総合計画審議会が最終的な議論の場であるということをご理解をお願いしたいと思います。

（委 員）資料 6 の P. 4 では「市民参画」と記載されているが、条例では「市民参加」という言葉を用いている。言葉の違いは何なのか。もし意味が同じなのであれば言葉を統一すべきだと思う。異なる意味なのであれば注釈が必要であると思う。

（事 務 局）市民参加条例はパブリックコメント等で意見を頂戴するということで「参加」としており、「参画」は会議などで直接議論をさせて頂くという意味で使い分けています。文章中の言葉の使い分けについては再度確認を行います。

#### （4）第 6 次江南市総合計画基本構想（序論）について

（会 長）議題 4 第 6 次江南市総合計画基本構想（序論）について、事務局より説明をお願いします。

（事 務 局）～資料 9 について事務局より説明～

（会 長）委員の皆さんには一通りご意見をお願いします。

- (委員) 戦略計画での反省を踏まえての内容と思われませんが、その点について何かありましたら説明をお願いしたい。
- (事務局) 現在の計画は平成 29 年度までの計画で、最新の事業評価としては平成 27 年度時点で評価をしており、その結果は反映させて頂こうと思っています。しかし、平成 29 年度の結果を反映することは現実的ではないので、その結果は平成 35 年度の総合計画見直しの際に反映していく予定です。
- (委員) 資料 9 の 5 ページで評価を「市役所」が行うと記載しているが、「市役所」とは位置的なものを表しており、「行政」と記載した方が良いのではないかと。
- (委員) 同じ意見を持っている。その他には、現段階で質問はない。
- (委員) 資料 9 の 5 ページについて、「施策評価」を市役所が評価となっているが、外部からの評価も必要なのではないかと。
- (事務局) まちづくり会議の中で「施策評価」についても議論していただいているので、外部からの評価も受けていると考えています。
- (会長) 「市役所が評価」という言葉が馴染まない。
- (委員) 資料 9 の 3 ページで「市民と行政が公理として～」と記載しているが、“公理”という表現は分かりにくいので、市民に分かりやすいものをつくるのなら表現を分かりやすい表現に変えた方が良い。もう 1 点、NPM 理論にそぐわない分野や反省点もあると思うので、前回の計画から継続とするのではなく、一定の見直しも考えつつやっていくことも大事だと思う。
- (事務局) “公理”の表現については工夫させていただきます。NPM 理論の議論について、そぐわない分野があることは認識しています。数値の判断材料については計画策定時に改めて認識の統一を図っていきます。
- (会長) NPM (理論) という言葉は今時ではない。
- (委員) 市長マニフェストや市長の戦略政策という言葉が基本構想などにも使われており、市長の任期に合わせた計画となっているが、現市長が 3 期やって頂ける前提で良いのか。
- (事務局) 市長は市民の審判を経て選ばれており、今回は市長選の際に掲げていたマニフェストで信任を得たということで、澤田市長のマニフェストの項目をおいています。また、市長の任期を意識して計画期間も設定していますが、市長公約では任期を 2 期 8 年としているため、その点も反映させて計画を策定しています。
- (委員) 「人口減少を前提とした総合計画」とあるが、人口減少と言うのは単純に推計した数値なのか、政策を踏まえた数値なのかを教えてください。
- (事務局) 昨年度に策定した江南市人口ビジョンの中の数値を反映させていただいています。施策を反映させた推計では 8 万人ちょっと、施策を反映させない単純な推計だと 6 万人代まで減少すると推計されています。江南市総合戦略を上手く反映し、人口減少を食い止めたいと考えています。
- (委員) 人口減少を食い止めるため、様々な施策を打ち出しているなら、きちっと重点的にやっていく必要がある。具体的にはどのような施策を考えているのか、後で聞かせていただきたい。
- (委員) 金融協会や商工会議所とお話していると、いつも企業誘致とコンパクトシティ (駅前の開発) の話が出てくる。転出したい企業が複数いる一方で、江南市に来たいという企業もあるのに、場所が確保できない等の問題をどうしていくのかという課題がある。市民意向調査の転居理由では「買い物や娯楽を楽しめる環境でない」「公共交通機関 (電車・バス) が不便」など、「江南市の将来の姿について」は、企業誘致や働く場所を重視していることは明らかになっており、この辺りが進まない良くならないと考えているが、ある程度施策を講じたとしても、人口減少は避けられないと思うので、住民に対してどのような不利益があるかを具体的に示すことが大事であると考えている。
- (委員) 前回の戦略計画と比べて、今回の総合計画では、どこをどう変えようとしているのかを確認してみたいので、(戦略計画との比較が) 冊子になったものがあればお配りいただきたい。もう 1 点、人口減少について、人口ビジョンや総合戦略では地域の実情が反映されておらず、全市一括で機械的に行われているように感じるが、その点はどうか。
- (事務局) 比較表については後日お示しいたします。人口減少については、各地域での推計という形

で機械的に算出をしておりますが、施策自体は江南市全体の施策として反映しています。先日、地域協働の研修会の講師からも、高齢対策に限って申し上げると、地域ごとに政策パターンも変わってくるので勘案をする必要があるということで教えて頂いておりますので、地域に応じた政策展開の重要性は十分に認識しています。

- (会 長) 集落や地域によって事情が異なるというのは非常に重要なご指摘だと思います。
- (委 員) 資料9の3ページの一番下に「明確性 施策の優先度の明記」とあるが、優先的にやっていくということは、廃止されるものもあると思うが、それは知らないうちに自然になくなっていくのならば、序論等で“～の施策は廃止します”というような形で明記しても良いのではないか。
- (事 務 局) 序論での記載は難しいと思うが、計画策定の中では記載していく必要があると思っております。
- (会 長) 皆さんからのご指摘も多いので、地域の状況は十分に踏まえて実行していくということ、どこかに記載されても良いのではないのでしょうか。
- (委 員) 3市2町の商工会議所の会議の場で、扶桑町と大口町の人口は減らないと言っていた。江南市だけ人口減少するのであれば、政策によって減少幅が違ってくるので、政策内容についてよく検討してほしい。序論について、まち・ひと・しごと総合戦略と内容が重複するところもあると思うが、内容がどうリンクしてくるのかを教えてください。
- (事 務 局) 総合計画が上位計画になるので、まち・ひと・しごと総合戦略を内包するような形で総合計画は策定していこうと考えています。
- (委 員) 人口減少については、他の委員がおっしゃるように減らない地域もあるため、その要因を判明させる必要がある。  
NPM、PDCAをなくすのではなく、良い所は取入れて頂きたい。市民意向調査の「住み続けたい」「住みたい」という意向は高いので、それを伸ばすような計画としてほしい。
- (委 員) 人口減少はどこの自治体でも言われている。江南市の中で空き家が多い地域を把握しておく必要がある。他市では空き家の増加や企業の撤退等により流動的に人口が減少する可能性が高いと聞いた。我々は、評価していく段階でどこの地域にどのような整備をしていくか、財政との関係も含めて検討していく必要があると思う。
- (委 員) 実効性があるものにしていくことが重要である。地域特性を活かすことが重要で、どこの市でも同じ言葉を使うのではなく、江南市ならではの計画としてほしい。
- (委 員) 前回の市民会議（全体会議）にも出席していたが、江南市の特性を序論や基本構想を漠然的に表現してしまうと上手く伝わらないのではないかと、という話が出ていた。分科会で細かい表現を検討して、それを審議会にフィードバックできればと考えている。
- (委 員) 江南市に住んでいて良かったと思えることを大切にしたい。計画には、若い世代の意見も汲んでほしい。
- (委 員) 市民会議では戦略計画とこれからの計画の関係について、見えるように整理されてきたと思っていたが、今日話を聞くと、まだ足りない視点があったかもしれないと気づかされた点がある。これを分科会での議論に反映していきたい。
- (事 務 局) 地域の状況については序論の方にうまく表現させて頂きたいと思っております。NPM理論の記載内容についてご議論をして頂けると助かります。
- (会 長) NPM理論にこだわらなくても良いと思います。今では当たり前のことなので、市役所で確認頂き、後の章を議論するところでご検討を頂ければと思います。  
また、各地域の状況の把握を反映した修正は大変だと思うので、今後の検討の中で十分反映して頂きたいと思っております。  
以上のことから、序論については、概ね了解いただけたいと思っておりますので、お認め頂きたいと思っております。  
本日の意見を反映して修正したものは、後日確認させて頂き、委員の方々にも配布頂きたいと思っております。宜しくお願いたします。

(5) その他

(事務局) 本日の会議録は、市のホームページで公表させて頂く予定です。お名前は「委員」と表記し伏せますので、ご了承下さい。

次の第2～4回審議会は2月上旬から3月下旬に予定させていただきます。後日、日程調整させていただきますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

本日は、長時間に渡りご審議頂き、ありがとうございました。

以上